



道徳だより



本校では今年度「希望と勇気、努力と強い意志」「伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を中心に道徳教育を推進していきます。学校の教育活動の全てを通して行われるのが道徳教育です。毎週1時間行われる「道徳の時間」では子どもたちが日々の生活の中で体験したことを自分とのかかわりの中で深めていきます。この道徳便りでは、道徳の時間などの子どもたちの様子をお伝えしていきます。

ご家庭でも保護者の方々と子どもたちが一緒に考えたり話し合ったりして、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

道徳の時間の様子 1年生「おふろばそうじ」やるべきことはしっかりと

自分のやるべき仕事をしっかりと行った時の充実感を感じ取り、自分がしなければならぬ勉強や仕事はしっかり行おうとする態度を育てることをねらいとして学習をしました。

主人公のあきは、お風呂場掃除をはじめは上手にできませんでしたが、頑張って続けるうちに上手になり、「きれいなお風呂に気持ちよく入ることができるよ。」と、家族みんなの励ましや称賛によって、これからももっと頑張ってお風呂場掃除をすると決めます。授業の初め、児童は自分が生活の中でやらなければいけないこと（係や当番のしごと・宿題やランドセルの準備・部屋の片づけなど）が多くあることに気づきました。授業を通して、児童はあきの姿から、自分の仕事をしに行うことによって得られる喜びや充実感に気付くことができました。

ご家庭でも、勉強や家の仕事など、お子様が自分にできることがないか考えるのもいいですね。また、自分がやるべきことに継続して取り組んでいけるよう、励ましの言葉もかけてください。



児童のノートや発言より

- ・いえでのしごと（手つだい）をするといいとおもいました。手つだいをするとみんながいいかおになるからです。いっぱいほめられるかもしれないからです。
- ・これからやらないといけないことをしっかりとやればよかったら、まわりの人もいい気持ちになると、気がつきました。じぶんもうれしい気持ちになるとおもいます。
- ・これからじぶんのしごとは、やらなければいけないんだとわかりました。むずかしいしごとも、ぜったいやりきらなくてはいいんだということに気がつきました。
- ・これからじぶんでしなければいけないことが、いっぱいでてくるから、じぶんのことはじぶんでしたいとおもいました。じぶんのことをやると、とてもうれしくなるとわかりました。
- ・かかりのしごとをこれからわすれずにがんばりたいです。